

小型電気温水器（先止め式）

品番

EHPN-KWA12ECV1/EHPN-KWB12ECV1

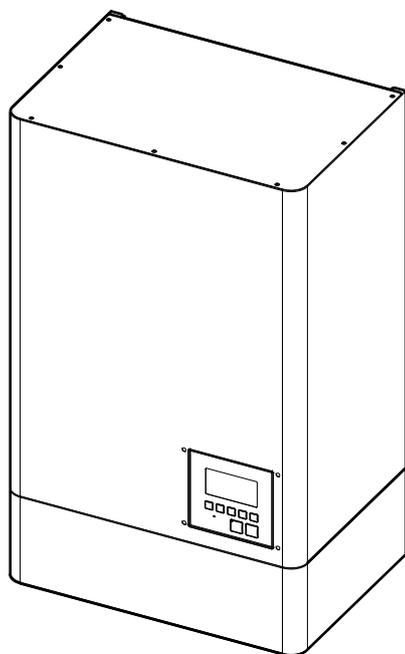
EHPN-KWA20ECV1/EHPN-KWB20ECV1

EHPN-KWA30ECV1/EHPN-KWB30ECV1

取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
お読みになった後必ず取り出せる場所に大切に保管してください。

説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
※保証書は紛失しないよう大切に保管してください。紛失した場合修理が有料となる場合があります。
※転居される場合、次に入居される方に、この説明書と保証書をお渡しください。



工事店様へのお願い

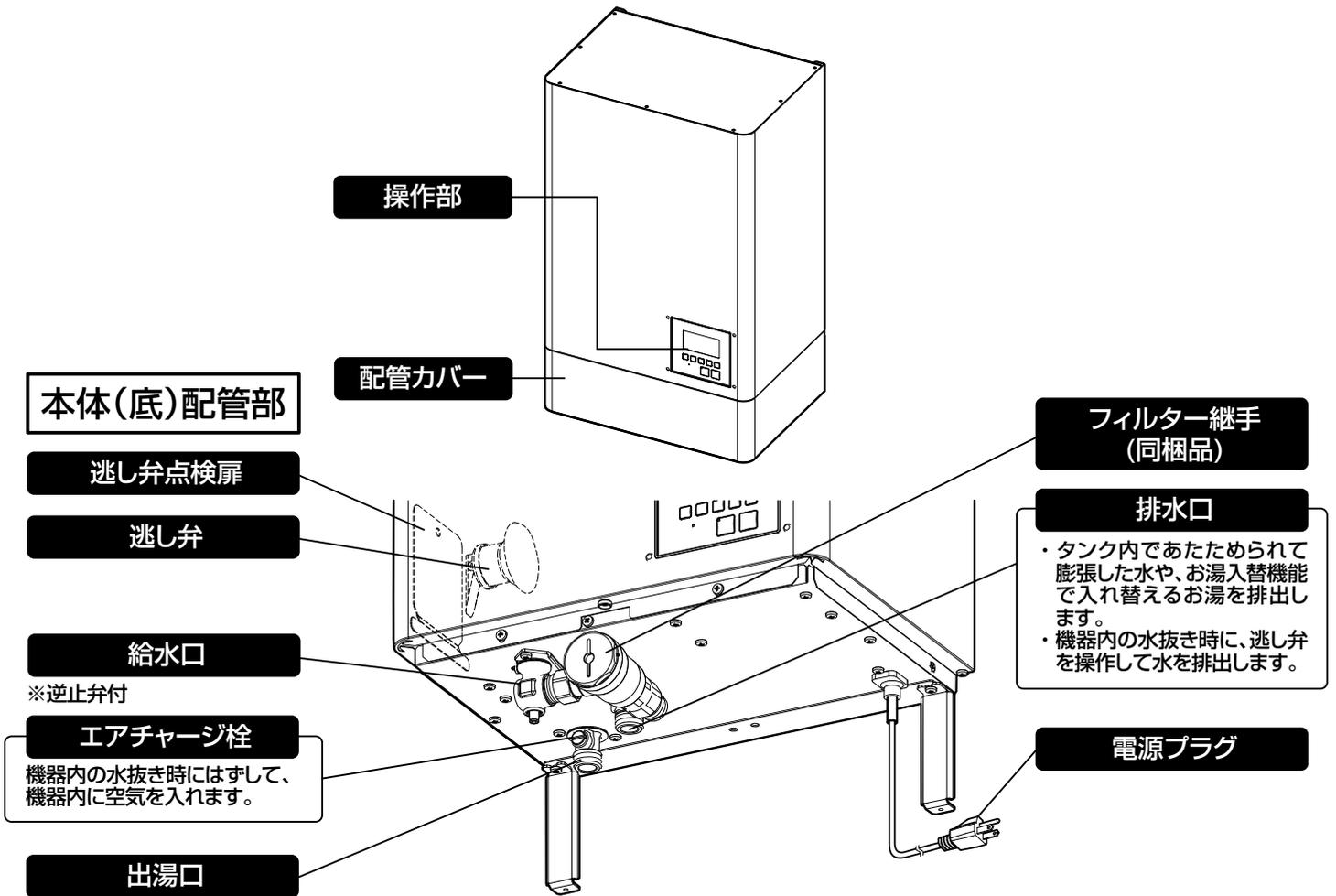
貴店名ならびに引渡し日を保証書にご記入の上、お客さまに必ずお渡しください。
また、定期的に点検が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。また、フィルター継手（同梱品）に付属の開閉工具は必ずお客さまにお渡しください。

もくじ

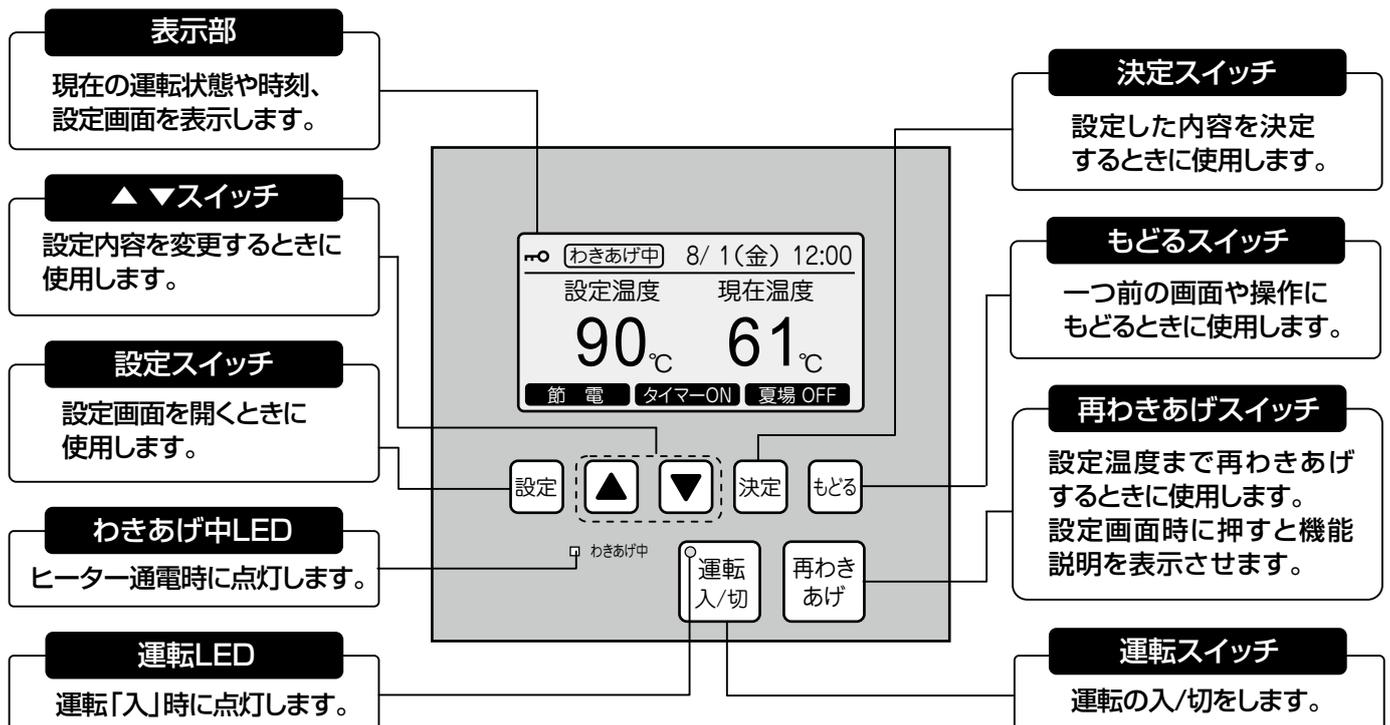
| | |
|----------------|-----|
| 各部のなまえ | 1 |
| 安全上のご注意 | 4 |
| ご使用前の注意事項 | 7 |
| ご使用方法 | 9 |
| ●お湯をわかす | 9 |
| ●ウィークリータイマー機能 | 10 |
| ●お湯入替機能 | 15 |
| ●スーパー節電機能、節電機能 | 18 |
| ●夏場OFF機能の設定 | 19 |
| ●現在年月日・時刻の設定 | 20 |
| ●チャイルドロックの設定 | 20 |
| ●再わかきあげ機能 | 20 |
| ■日常の点検 | 21 |
| ■冬季凍結の恐れがある場合 | 23 |
| ■定期的な部品点検のお願い | 24 |
| ■長期間使用しない場合 | 24 |
| ■停電時の対応 | 24 |
| ■故障かなと思ったら | 25 |
| ■アフターサービスについて | 28 |
| ■仕様 | 29 |
| ■保証書 | 裏表紙 |
| ■問い合わせ先 | 裏表紙 |

各部のなまえ

機器本体 ※図はEHPN-KWA12ECV1

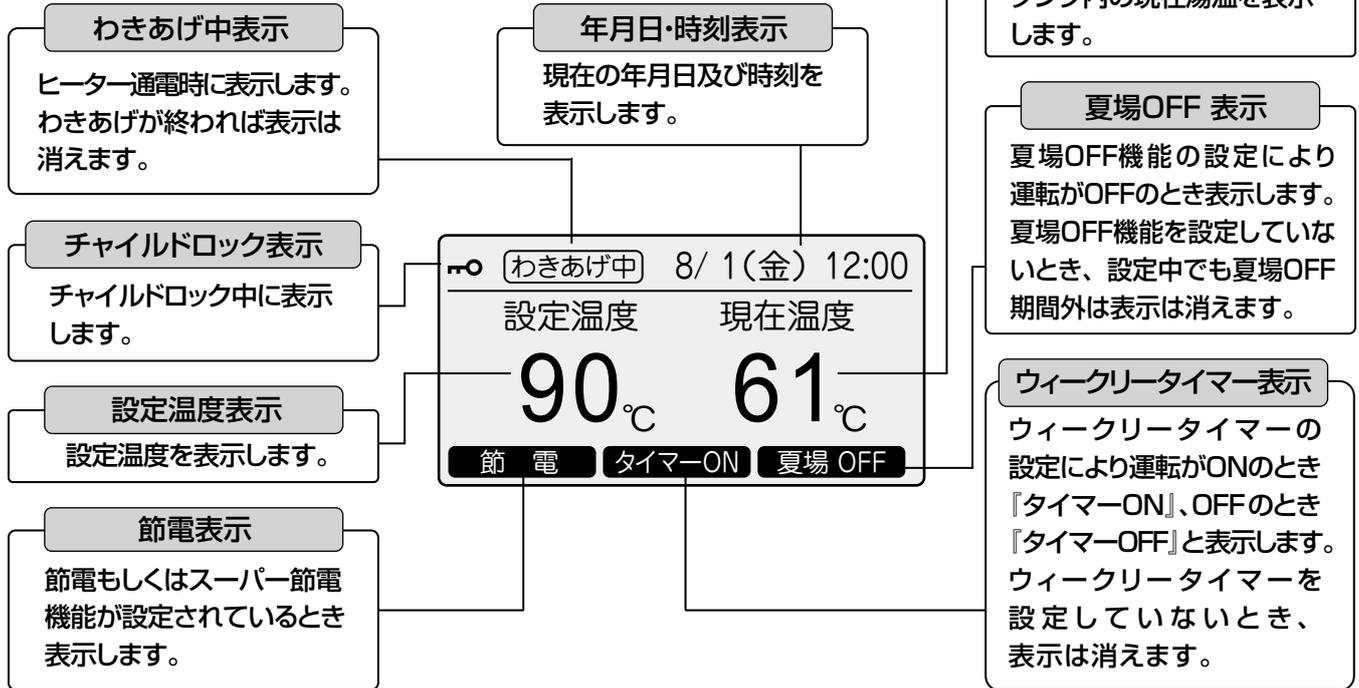


操作部

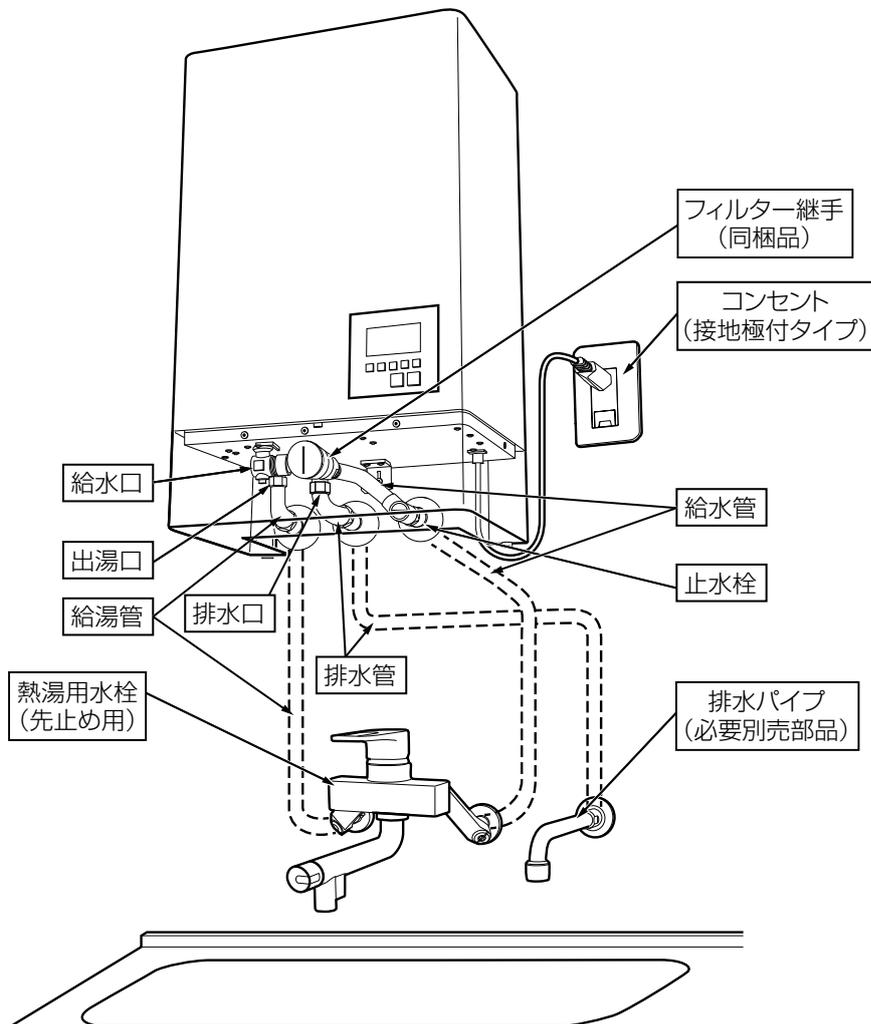


表示部

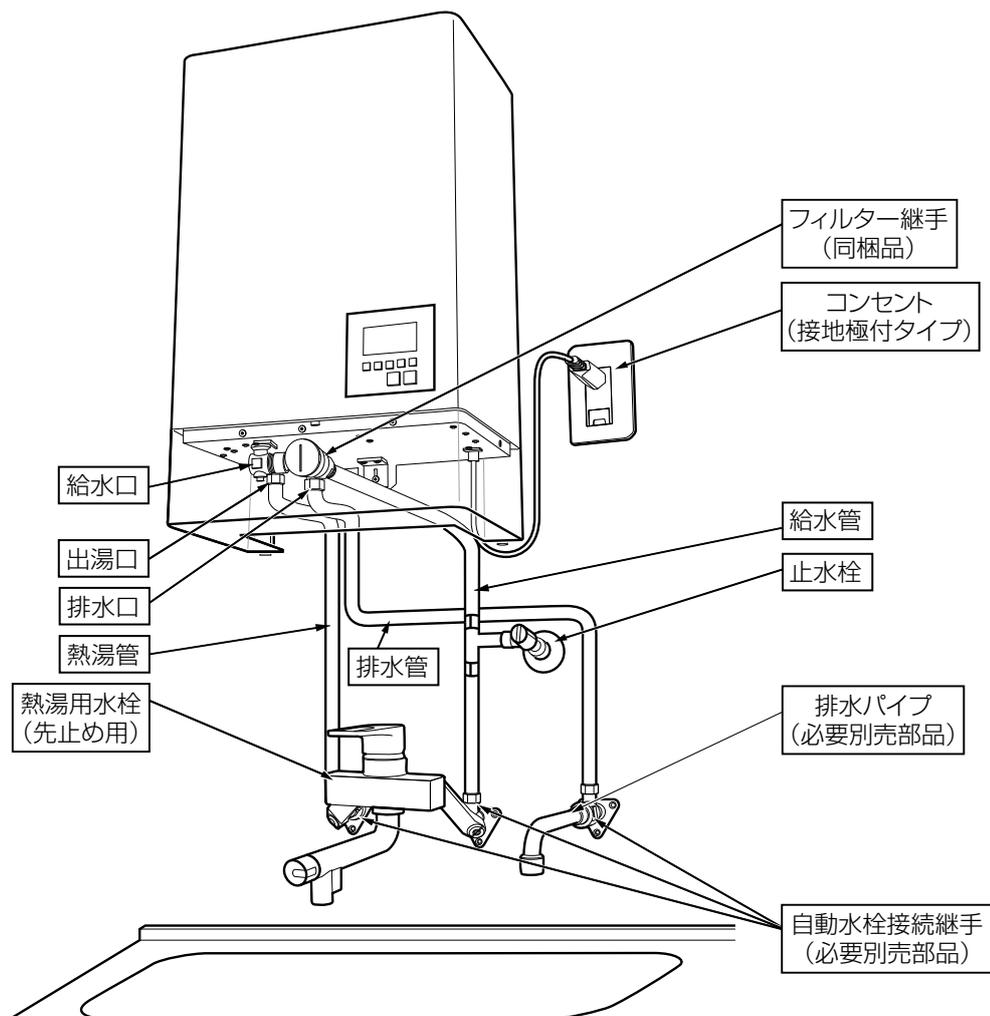
- ・液晶の表示は、画面保護のため1時間で液晶表示をOFFにします。
- ・任意のスイッチを押すことで液晶表示をONにします。



配管図例(壁裏配管の場合)



配管図例(露出配管の場合)



スーパー節電・節電運転について

スーパー節電・節電共通

1 使用頻度が低い時間帯はわかがり温度を下げて節電

使用が少ない時間帯を学習して、使用頻度が低い時間帯はわかあげ温度を下げて節電します。

スーパー節電のみ

2 お湯を使わない夜間・休日は運転をOFFして節電

お湯を使用しない時間帯(夜間・休日など)を学習して自動的にヒーターをOFFして節電します。

スーパー節電のみ

3 お湯を使わない季節は運転をOFFして節電

水温を学習することにより、お湯を使用しない夏場などに自動的に運転をOFFして節電します。
※給水温度が約20℃を超えると作動します。

安全上のご注意(必ずお守りください)

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語の説明

- | | | |
|---|-----------|--|
|  | 警告 | 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定される場合 |
|  | 注意 | 取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定される場合 |

記号の説明

- | | | | |
|---|--|---|--------------------------------|
|  | 「注意しなさい!」(上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。) | | |
|  | 「してはいけません」 (一般的な禁止記号です) |  | 「指示通りにしなさい!」 (一般的な行動指示記号です) |
|  | 「分解してはいけません!」 |  | 「必ずアースを接続しなさい」 |
|  | 「電源プラグを抜きなさい」 | | |

警告

| | |
|---|--|
|  | ぬれ手に注意 電源プラグはぬれた手で絶対に触らないでください。 ※感電の恐れがあります。 |
|  | 水かかり厳禁 ○屋外に設置しないでください。 ○屋内でも水がかかったり、表面に結露が生じたりするような湿気の多くなる場所 特に浴室やシャワールームには設置しないでください。 ○機器に水をかけたり、機器上部に濡れたものや洗剤等を置いたりしないでください。 ※機器内部に液体が入りこんで、機器の故障、火災や感電の原因になります。 |
|  | 分解禁止 修理技術者以外の方は、絶対に分解・修理は行わないでください。 ※火災や感電の原因になります。 |
|  | 機器の改造禁止 ○内部配線や電源コードの切断・圧着は絶対に行わないでください。 ○内部配線や電源コードを補修する必要がある場合は、現場で加工せずに専用補修部品と交換してください。 ※火災や感電の原因となります。 |
|  | アースの接続 ○設置場所の分電盤等に漏電遮断器が設置されていることを確認してください。 ○アースが必ず接続されていることを確認してください。 ※アース工事がされていない場合や不完全な場合は、感電する恐れがあります。 |

 **警告**

| | |
|---|--|
|  指示実行 | <p>機器のコンセント 機器用に設置するコンセントは「接地極付コンセント」をご使用ください。対応するコンセント形状は100V、200V で異なりますので、使用する電源、ヒーター能力を本体の定格銘板で確認し、必ず適したコンセントをご使用ください。また電源プラグの変更は絶対に行わないでください。 ※火災や漏電等の重大故障の原因となることがあります。</p> |
|  指示実行 | <p>ブレーカー作動時の使用中止 本機器とつながった分電盤のブレーカーが作動した場合、使用を中止し、すみやかに修理を依頼してください。 ※本機器に異常がある恐れがあります。作動したブレーカーを入れ直してご使用を続けた場合、火災や漏電等の重大故障の原因となることがあります。</p> |
|  指示実行 | <p>機器使用の条件 使用する電源、ヒーター能力を本体の定格銘板で確認し、必ず適した配線をしてください。 ※適していない電圧や配線に接続すると火災の危険性があります。</p> |
|  指示実行 | <p>機器使用の条件 雷の音が聞こえる場合には使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜いてください。 ※感電の原因になります。</p> |
|  指示実行 | <p>電源プラグは確実に差し込む 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。また、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。 ※火災の原因になります。</p> |
|  禁止 | <p>電源コードを傷めない 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っばったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。また電源プラグを抜くときは、コードを持って引き抜かないでください。 ※電源コードが破損し、感電・火災の原因となります。</p> |
|  指示実行 | <p>電源プラグのお手入れを 半年に1回程度は電源プラグを抜き、ほこりを除去してください。 ※火災の原因になります。</p> |
|  指示実行 | <p>高温注意 ○熱湯ハンドルを操作して出したお湯に触れないでください。 ○出湯配管、排水管、排水パイプに直接手を触れないでください。 ○混合水栓を使用する場合、先に水を出してから、その後、湯を出して温度調節してください。 ※ヤケドの恐れがあります。</p> |
|  指示実行 | <p>熱湯用水栓（先止め用）接続 本機器は約90℃の高温の湯が出ますので必ず熱湯用水栓（先止め用）（注）と組合せてください。 水栓金具の施工説明書に従って正しく取付けられていることを確認いただき、水栓金具の取扱説明書「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。 ※正しくお使いいただけない場合、ヤケドの恐れがあります。 （注）熱湯用水栓（先止め用）とは、約90℃以上の高温の湯で使用可能な水栓で、混合栓においては、ハンドルレバーをお湯側全開にしても高温の湯が出てこないよう出湯温度規制のついているものをいいます。</p> |
|  禁止 | <p>機器使用の条件 この機器は水道水以外の水(水道事業者が供給する上水以外)での使用はできません。 ※早期に機器が破損し、感電・漏水の原因となります。</p> |
|  禁止 | <p>機器使用の条件 この機器はキッチン以外への設置はしないでください。 ※キッチン以外と組み合わせると洗面器が破損する恐れがあります。</p> |

⚠ 注意

| | |
|---|---|
|  禁止 | 機器使用の条件 ○この機器は車両、船舶での使用はできません。 ○この機器は太陽熱温水器や、他の給湯機器との接続はできません。 ※機器の故障だけでなく、漏電、漏水などの恐れがあります。 |
|  指示実行 | 機器使用の条件 この機器は給水圧力0.1MPa(流動圧)～0.75MPa(静水圧)までの範囲でご使用ください。 ※水圧が高い地域に設置した場合、止水時にタンク内の圧力が高くなり、膨張水口から水がふき出し続ける恐れがあります。 |
|  指示実行 | 排水管、排水パイプの接続 排水口からの配管は、確実に配管施工してください。 ※漏水の恐れがあります。 |
|  指示実行 | 飲用注意 機器内に長期間滞留していた水は、飲用に用いずに雑用水としてお使いいただくか、お湯入替機能の手動入替(P16)を実施してから飲料用水としてお使いください。 ※長期間滞留していた水を飲用すると下痢、腹痛などを起こす恐れがあります。 |
|  禁止 | 空だき禁止 機器内のタンクが満水になっていない場合は、運転スイッチを「入」にしないでください。 ※機器の破損やヤケドの恐れがあります。 |
|  指示実行 | 凍結予防 凍結の恐れがある場合は、機器内の水抜きを行ってください。 ※機器が凍結破損し、漏水する恐れがあります。 |
|  禁止 | 熱湯の排水方法 熱湯はシンク等に直接排水しないでください。 ※熱湯により排水管やシンクなどが損傷する恐れがあります。 |
|  禁止 | 機器使用の条件 シンクなどにふたをして排水経路をふさがないでください。 ※シンクから湯(水)があふれ家財などを汚したり、腐らせるおそれがあります。 |

ご承知おきいただきたいこと

本機器は、貯湯式です。

タンク内のお湯を使い切ると、次の湯がわかあがるまで以下の時間が必要です。

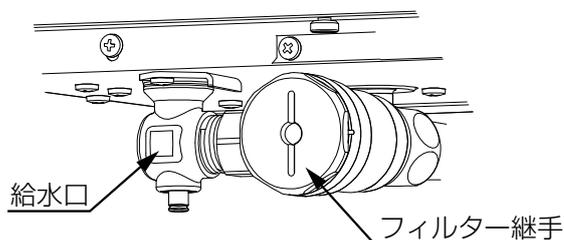
| 製品品番 | わかあげ時間 (15℃→90℃) | 標準出湯量 | |
|----------------|---------------------|--------|-----------------------|
| | | 洗い物用※1 | 給茶用※2 |
| EHPN-KWA12ECV1 | 約58分 | 約26L | 約83杯 (わかあがり温度90℃) |
| EHPN-KWB12ECV1 | 約42分 | | |
| EHPN-KWA20ECV1 | 約102分 | 約52L | 約163杯 (わかあがり温度90℃) |
| EHPN-KWB20ECV1 | 約73分 | | |
| EHPN-KWA30ECV1 | 約154分 | 約81L | 約257杯 (わかあがり温度90℃) |
| EHPN-KWB30ECV1 | 約80分 | | |

※1 水温15℃、出湯温度38℃、出湯量4L/分の標準条件で一度に使用できる湯量

※2 コップ1杯100ccとして算出

ご使用前の注意事項

確認1. 給水口に同梱品のフィルター継手が取り付けられていますか？



⚠ 注意

必ずフィルター継手を
取り付けてください。
※機器内部にゴミが侵入して
故障の原因になります。



取り付けられていない場合は、販売店またはLIXIL修理受付センター

TEL: ☎ 0120-179-411

FAX: ☎ 0120-179-456

にご連絡ください。

確認2. 接地極付コンセントが取り付けられていますか？

| 品番 | 定格電圧 | 定格消費電力 | 対応コンセント形状 |
|----------------|--------|--------|-----------|
| EHPN-KWA12ECV1 | AC100V | 1,100W | |
| EHPN-KWA20ECV1 | | | |
| EHPN-KWA30ECV1 | | | |
| EHPN-KWB12ECV1 | 単相200V | 1,500W | |
| EHPN-KWB20ECV1 | | | |
| EHPN-KWB30ECV1 | | 2,000W | |

⚠ 警告

- 接地極のないコンセントが設置されている場合は、コンセントを付け替えてください。
 - 分電盤に漏電遮断器が設置されていることを確認してください。
- ※故障や、感電・火災の原因になります。



確認3. 電源プラグはコンセントから抜いていますか？

- 電源プラグがコンセントに接続されていれば抜く。

⚠ 注意

機器内のタンクが満水になっていない場合は、
電源プラグを差し込まないでください。
※機器の破損やヤケドの恐れがあります。



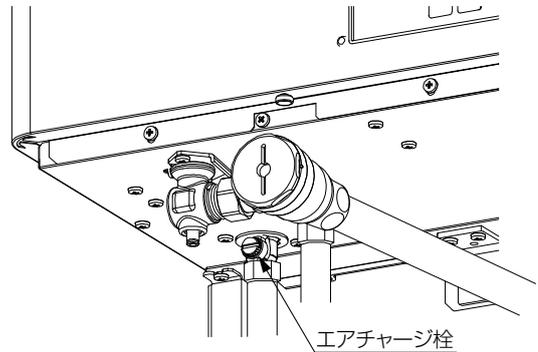
タンクへの給水手順

⚠ 注意

機器内のタンクが満水になっていない場合は、運転スイッチを「入」にしないでください。
※機器の破損やヤケドの恐れがあります。



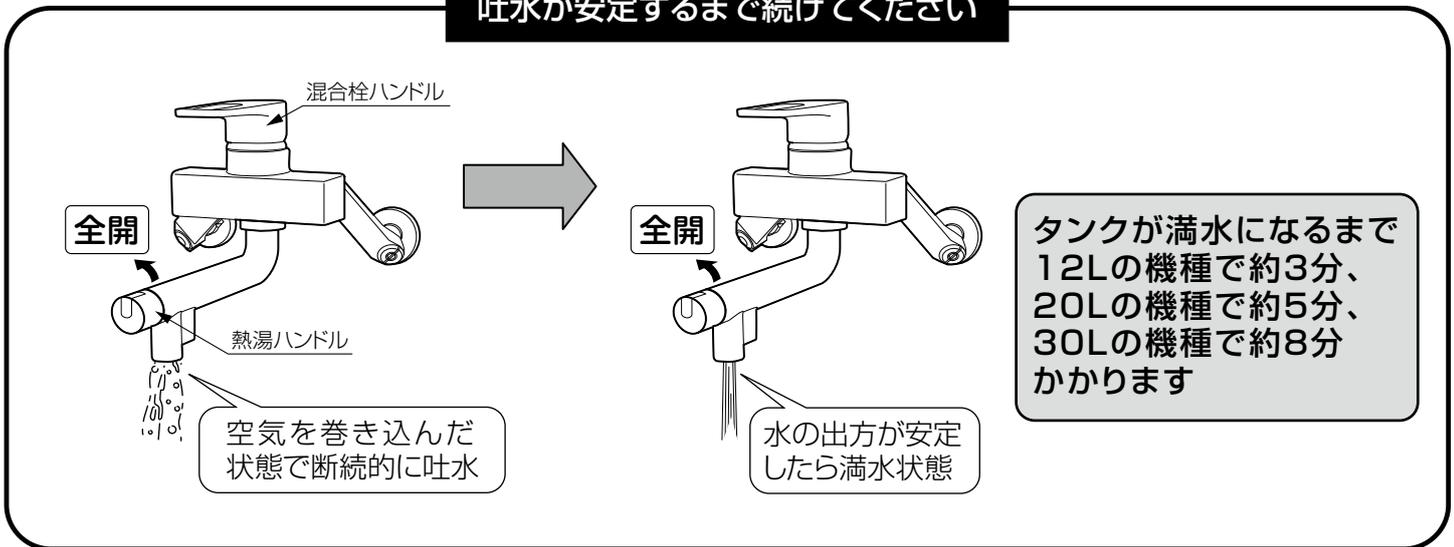
①エアチャージ栓が閉まっていることを確認する。



②止水栓を開ける。

③熱湯ハンドルを全開にして吐水する。

吐水が安定するまで続けてください



④混合栓ハンドルの湯側、水側についても同様の操作を行う。

⑤止水栓で流量を調整する。

キッチンシンクから水ハネしたり、あふれたりしないように調整します。

⑥水栓金具を閉め、配管各部に漏れがないか確認する。

⑦電源プラグをコンセントへ差し込む。

⚠ 注意

電源プラグはコンセントに根元まで
確実に差し込んでください。
※火災の原因になります。



⑧運転LED が消灯していることを確認する。

点灯している場合は、運転スイッチを「切」にします。

消灯確認

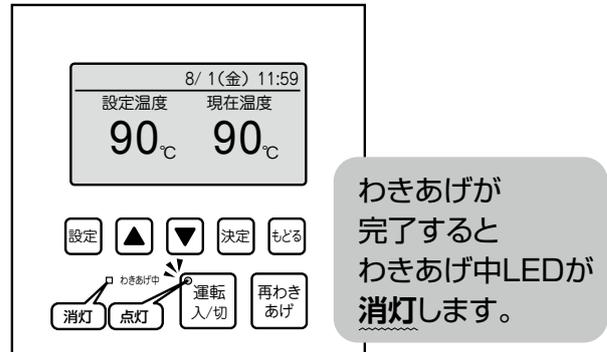
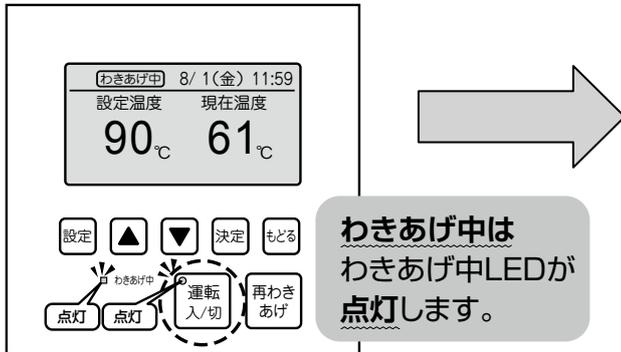
運転
入切

ご使用方法

お湯をわかす

-  を押す。

- わきあげが完了したら、お湯が使える状態になる。



- お湯を使用してタンク内の湯温が下がると、再びわきあげが始まる。再びわきあげLED が点灯します。わきあげが完了したら、消灯します。

■日常の使用

- 湯を使用する時期は運転スイッチを「入」のままにしてください。
- 長期間運転が「切」の場合は右の画面が表示されます。
タンクの中のお湯を長期間使用していない場合は画面の指示に従いお湯入替を実施することをおすすめします。

※夏場でお湯が不要な場合は、夏場OFF 機能が設定できます。夏場OFF 期間中はヒーターを自動的にOFF にするので、運転スイッチを「切」にする必要はありません。

※スーパー節電設定時は、夏場などに水温を自動検知し、ヒーターを自動的にOFF にするので、運転スイッチを「切」にする必要はありません。

長期間運転が切でした。
お湯入替することをおすすめします。
すぐにお湯入替しますか。
はい→**決定** いいえ→**もどる**

⚠ 注意

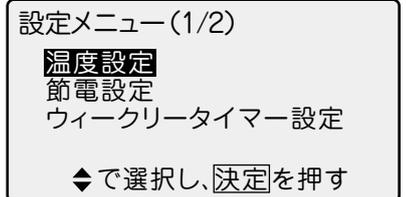
電気温水器を使用中は排水パイプから熱い湯が出ることがあるのでさわらないでください。
※わきあげによる膨張水およびエア抜き機能による湯(水)の排出により、ヤケドの恐れがあります。



わきあがり温度の変更

- ① **設定** を押す。
- ② **▲ ▼** を押して、『温度設定』を選び、
決定 を押す。
- ③ **▲ ▼** を押して、わきあがり温度を選び、
決定 を押す。

- 60～90℃の間で、5℃きざみで設定できます。
- 工場出荷時の設定は90℃です。



※節電機能を設定中に、60℃もしくは80℃を設定した場合、自動的に節電機能を解除します。
(設定温度60℃、80℃の場合節電機能は設定できません。)

※スーパー節電機能設定中に、80℃以上を設定した場合、自動的にスーパー節電機能を解除します。
(設定温度80℃以上の場合スーパー節電機能は設定できません。)

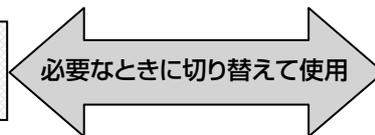
ウィークリータイマー機能

- 設定した曜日・時間のみ運転し、それ以外の時間帯はヒーターOFFして節電します。
- ウィークリータイマーはA、Bの2つのスケジュール設定を保存でき、状況により切り替えて使用できます。

例) サマータイムを導入しており、夏場だけ1時間早めた時間で動かしたい場合
ウィークリータイマーA とB を以下のように設定します。
通常はウィークリータイマーA で設定し、サマータイムの時期になったらB に切り替えます。
サマータイムが終わった時に、またA に切り替えます。

例. スケジュール設定1
通常使用時

ウィークリータイマーA
タイマー1 月～金7:00～18:00



例. スケジュール設定2
サマータイム時

ウィークリータイマーB
タイマー1 月～金6:00～17:00

- 1つのスケジュール設定の中でタイマー1～9の9パターンの運転時間の設定ができます。

例) 勤務時間が、平日は全日、土曜日は午前のオフィスの場合
タイマー2つを以下のように設定します。(例ではウィークリータイマーA で設定)

ウィークリータイマーA
タイマー1 月～金7:00～18:00
タイマー2 土7:00～12:30

1つのスケジュール設定の中で曜日や時間の設定を
9パターンまで細かく設定できます。

・工場出荷時のウィークリータイマーは以下のように設定されています。

初期のスケジュール設定1

ウィークリータイマーA
タイマー1 月～金5:00～18:30

初期のスケジュール設定2

ウィークリータイマーB
タイマー1 日～土5:00～22:00

ウィークリータイマーの設定

- ① **設定** を押す。
- ② **▲** **▼** を押して、『ウィークリータイマー設定』を選び、
決定 を押す。
- ③ **▲** **▼** を押して、設定するウィークリータイマーを選び、
決定 を押す。

設定メニュー(1/2)

温度設定
節電設定
ウィークリータイマー設定

◆で選択し、**決定**を押す

ウィークリータイマー設定

ウィークリータイマーAの設定
ウィークリータイマーBの設定
ウィークリータイマー切替え

◆で選択し、**決定**を押す

表示例 ウィークリータイマー設定画面

④タイマー(1~9)の選択

▲ ▼ を押して選択し、決定 を押す。

ウィークリータイマーA

タイマー 1 (4) (8)

ON時間 [6:30 - 18:30] (6)

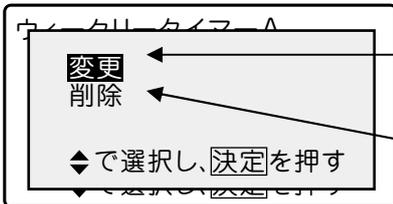
[月 火 水 木 金] (7)

◆で選択し、決定 を押す

⑤タイマー設定の変更・クリアを選択

以下のポップアップが表示され、タイマー設定を変更するか、タイマーを削除するかを

▲ ▼ を押して選択し、決定 を押す。



運転する時間・曜日の設定を変更します。

設定されているタイマーを削除します。

⑥運転時間の設定

運転する時間帯を設定します。-(ハイフン)の前がタイマー運転ON する時刻、-(ハイフン)の後ろがタイマー運転OFF する時刻です。

(表示例では6:30にタイマー運転ONし、18:30にタイマー運転OFFします。)

▲ ▼ を押して時刻を設定し、決定 で確定します。

以下の順番で運転時間の設定をします。

- | | | | | |
|------------------|------------------|---|---|---|
| ①タイマー運転ON時刻の『時』 | ① | ② | ③ | ④ |
| ②タイマー運転ON時刻の『分』 | | | | |
| ③タイマー運転OFF時刻の『時』 | 6 : 30 - 18 : 30 | | | |
| ④タイマー運転OFF時刻の『分』 | | | | |

⑦運転する曜日の設定

▲ ▼ を押して、運転する曜日を選択し、決定 を押す。

タイマー運転する曜日は表示状態にします。

タイマー運転しない曜日は非表示状態にします。

(表示例では月~金にタイマー運転し、土日はタイマー運転しません。)

※月曜~日曜日まで選択後、決定 を押すと、タイマーが記憶され④のタイマー選択に戻ります。

⑧ウィークリータイマー設定の終了

④のタイマーの選択で、タイマー9の次にある『タイマー設定終了』を選択し、決定 を押す。

ウィークリータイマーA
タイマー設定終了

◆で選択し、決定 を押す

■ウィークリータイマー設定例

例1) 曜日によって使用時間が異なる場合

タイマー1 設定：月、火、木、金 6:00～18:00 ON
 タイマー2 設定：水 12:00～18:00 ON
 タイマー3 設定：土 6:00～12:00 ON

ウィークリータイマーA
タイマー1

ON時間 6:00 - 18:00

月 火 木 金

◆で選択し、**決定**を押す

ウィークリータイマーA
タイマー2

ON時間 12:00 - 18:00

水

◆で選択し、**決定**を押す

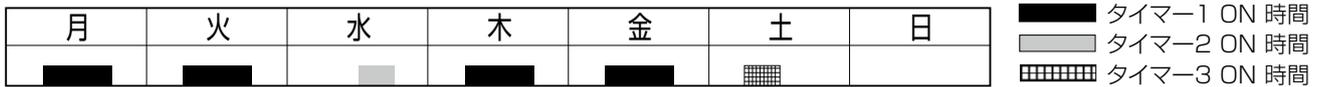
ウィークリータイマーA
タイマー3

ON時間 6:00 - 12:00

土

◆で選択し、**決定**を押す

●動作パターン



例2) 朝・晩のみ使用する場合(1日の中で複数タイマー使用)

タイマー1 設定：月～日 5:00～10:00
 タイマー2 設定：月～日 17:00～22:00

ウィークリータイマーA
タイマー1

ON時間 5:00 - 10:00

月 火 水 木 金 土 日

◆で選択し、**決定**を押す

ウィークリータイマーA
タイマー2

ON時間 17:00 - 22:00

月 火 水 木 金 土 日

◆で選択し、**決定**を押す

●動作パターン



例3) 深夜に使用する場合

タイマー1 設定：月 20:00～火 5:00

※ 運転OFF 時間が運転ON 時間より早い場合、運転がOFF になるのは翌日になります。

ウィークリータイマーA
タイマー1

ON時間 20:00 - 5:00

月

◆で選択し、**決定**を押す

●動作パターン



例4) 一定期間連続で動かす場合

タイマー1 設定：月～金 5:00～17:00

タイマー2 設定：月～木 17:00～5:00

※1 この設定の場合、お湯自動入替の「おまかせ時間設定」(P15)が設定できません。

※2 「おまかせ時間設定」が設定されている状態で下記の動作パターンを設定しようとすると下図のようなポップアップが表示されます。「入替時間指定」を設定してください。(P15)

ウィークリータイマーA
タイマー1

ON時間 5:00 - 17:00

月 火 水 木 金

◆で選択し、**決定**を押す

ウィークリータイマーA
タイマー2

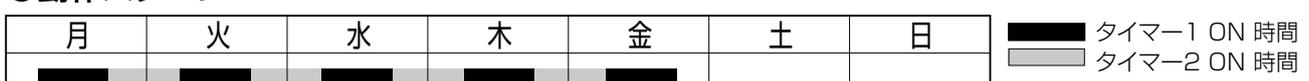
ON時間 17:00 - 5:00

月 火 水 木

◆で選択し、**決定**を押す

タイマーOFF時間が1時間未満の為、自動入替おまかせ時間設定ができません。入替時間指定してください。
決定を押す。

●動作パターン



※2 ポップアップ画面

使用するウィークリータイマーA、Bの切替え

- ① **設定** を押す。
- ② **▲ ▼** を押して、『ウィークリータイマー設定』を選び、
決定 を押す。
- ③ **▲ ▼** を押して、『ウィークリータイマー切替え』を選び、
決定 を押す。
- ④ **▲ ▼** を押して、設定するウィークリータイマーを選び、
決定 を押す。

設定メニュー(1/2)

温度設定
節電設定
ウィークリータイマー設定

◆で選択し、**決定**を押す

ウィークリータイマー設定

ウィークリータイマーAの設定
ウィークリータイマーBの設定
ウィークリータイマー切替え

◆で選択し、**決定**を押す

ウィークリータイマー切替え

ウィークリータイマーA
ウィークリータイマーB
ウィークリータイマーOFF

◆で選択し、**決定**を押す

現在設定されている項目が
黒色に表示されます。

ウィークリータイマーをOFFにする

お湯入替機能の自動入替「おまかせ時間設定」が設定されている(工場出荷時設定)とウィークリータイマーをOFFにすることはできません。ウィークリータイマーをOFFにするにはお湯入替機能の設定を事前に変更する。必要があります。

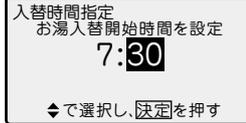
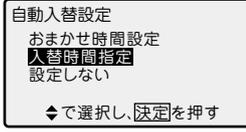
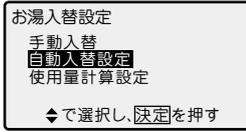
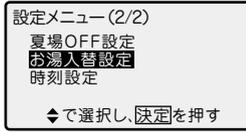
ウィークリータイマーをOFFにするために下記のどちらかの操作を事前実施する

■お湯入替機能を使用する場合

お湯入替機能の自動入替の設定を「入替時間設定」にすることでウィークリータイマーをOFFにする操作が可能になります。ウィークリータイマーをOFFの状態でお湯入替機能を使用する場合はこちらの操作をしてください。

入替時間設定の設定方法

- ① **設定** を押す。
- ② **▲ ▼** を押して、『お湯入替設定』を選び、**決定** を押す。
- ③ **▲ ▼** を押して、『自動入替設定』を選び、**決定** を押す。
- ④ **▲ ▼** を押して、『入替時間指定』を選び、**決定** を押す。
- ⑤ **▲ ▼** を押して、『時』を設定し、**決定** を押す。
- ⑥ **▲ ▼** を押して、『分』を設定し、**決定** を押す。



※使用状況にあわせて入替時間を指定してください。

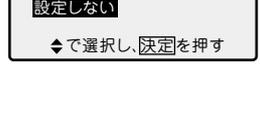
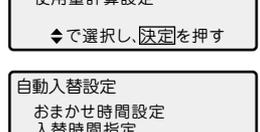
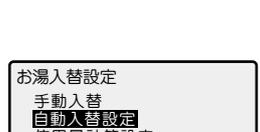
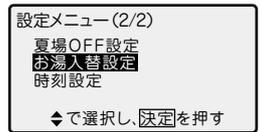
⑦ 次項のウィークリータイマーOFFの設定方法へ

■お湯入替機能を使用しない場合

お湯入替機能の自動入替の設定を「設定しない」にすることでウィークリータイマーをOFFにする操作が可能になります。※お湯を飲用にする場合は「お湯入替機能を使用する場合の設定」をおすすめします。

自動入替の設定の解除方法

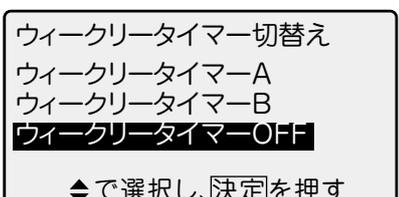
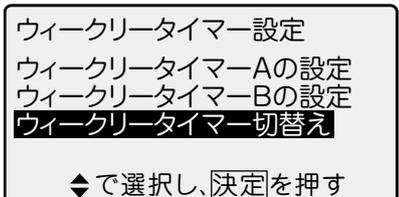
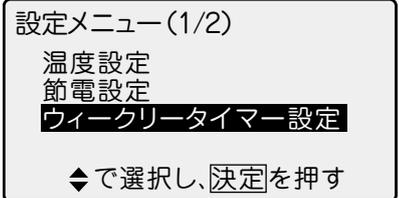
- ① **設定** を押す。
- ② **▲ ▼** を押して、『お湯入替設定』を選び、**決定** を押す。
- ③ **▲ ▼** を押して、『自動入替設定』を選び、**決定** を押す。
- ④ **▲ ▼** を押して、『設定しない』を選び、**決定** を押す。
- ⑤ 確認画面が表示される。
- ⑥ **決定** を押す。
- ⑦ 次項のウィークリータイマーOFFの設定方法へ



上記のどちらかの手順の後にウィークリータイマーをOFFにすることができます。

ウィークリータイマーOFFの設定方法

- ① **設定** を押す。
- ② **▲ ▼** を押して、『ウィークリータイマー設定』を選び、**決定** を押す。
- ③ **▲ ▼** を押して、『ウィークリータイマー切替え』を選び、**決定** を押す。
- ④ **▲ ▼** を押して、設定するウィークリータイマーを選び、**決定** を押す。



ウィークリータイマーOFFを選択すると連続運転になります。

お湯入替機能

- タンクのお湯を定期的に自動で入れ替える『自動入替機能』と、操作することで強制的にタンクのお湯を入れ替える『手動入替機能』があります。
- タンクのお湯を入れ替えるとき、タンクのお湯は排水口から排水管を通り排水パイプへ排出されます。正しく配管されていることを確認の上、ご使用ください。
- 自動入替機能には、以下の2つの設定があります。
使用状況に合わせて設定してください。
「おまかせ時間設定」：タイマー運転OFFの時間帯に自動でお湯を入れ替える設定
「入替時間指定」：毎日決められた時間帯にお湯を入れ替える設定
※1 工場出荷時の設定は「おまかせ時間設定」です。
※2 電気温水器のお湯を飲用する場合は、自動入替機能を設定することをおすすめします。
- 自動入替機能と合わせて「使用量計算設定」を設定することで節水性を高めることができます。
「使用量計算設定」は前日にタンク内のお湯を使用して全て入れ替わっていた場合、次の日のお湯入替をキャンセルし節水することができます。
※工場出荷時は設定されていません。

⚠ 注意

電気温水器を使用中は排水パイプから熱い湯が出ることがあるのでさわらないでください。
※お湯入替機能により湯が排出されるため、ヤケドの恐れがあります。



自動入替 — おまかせ時間設定 —

- ・ウィークリータイマーの設定で、タイマー運転ON の1時間前に自動でお湯を入れ替えます。
- ・ウィークリータイマーの設定で、一日中タイマー運転OFF の日は入替えを行いません。
※ウィークリータイマーを設定していないとき、『おまかせ時間設定』は設定できません。(P10)
- ※ウィークリータイマーの設定で、タイマー運転OFF の間隔が1時間未満しかない曜日があるとき、『おまかせ時間設定』は設定できません。

- ① **設定** を押す。
- ② **▲ ▼** を押して、『お湯入替設定』を選び
決定 を押す。
- ③ **▲ ▼** を押して、『自動入替設定』を選び、
決定 を押す。
- ④ **▲ ▼** を押して、『おまかせ時間設定』を選び、
決定 を押す。

設定メニュー(2/2)

夏場OFF設定
お湯入替設定
時刻設定

◆で選択し、**決定**を押す

お湯入替設定

手動入替
自動入替設定
使用量計算設定

◆で選択し、**決定**を押す

自動入替設定

おまかせ時間設定
入替時間指定
設定しない

◆で選択し、**決定**を押す

現在設定されている項目が黒色に表示されます。

自動入替 一入替時間指定

- ・お湯を入れ替える時間を指定し、毎日指定された時間にお湯を入れ替えます。
- ・ウィークリータイマーや夏場OFFによるヒーターON/OFFの状態に関わらずお湯を入れ替えます。

- ① **設定** を押す。
- ② **▲ ▼** を押して、『お湯入替設定』を選び、
決定 を押す。
- ③ **▲ ▼** を押して、『自動入替設定』を選び、
決定 を押す。
- ④ **▲ ▼** を押して、『入替時間指定』を選び、
決定 を押す。
- ⑤ **▲ ▼** を押して、『時』を設定し、**決定** を押す。
- ⑥ **▲ ▼** を押して、『分』を設定し、**決定** を押す。

設定メニュー(2/2)

夏場OFF設定
お湯入替設定
時刻設定

◆で選択し、**決定**を押す

お湯入替設定

手動入替
自動入替設定
使用量計算設定

◆で選択し、**決定**を押す

自動入替設定

おまかせ時間設定
入替時間指定
設定しない

◆で選択し、**決定**を押す

入替時間指定

お湯入替開始時間を設定
7:30

◆で選択し、**決定**を押す

現在設定されている項目が
黒色に表示されます。

使用量計算設定

前日にタンク内のお湯を使用して全て入れ替わった場合、次の日のお湯入替をキャンセルし節水する機能です。

- ① **設定** を押す。
- ② **▲ ▼** を押して、『お湯入替設定』を選び、
決定 を押す。
- ③ **▲ ▼** を押して、『使用量計算設定』を選び、
決定 を押す。
- ④ 確認画面が表示されるので、選択する。

※右の例の場合 **決定** を押す。

※工場出荷時は設定されていません。

設定メニュー(2/2)

夏場OFF設定
お湯入替設定
時刻設定

◆で選択し、**決定**を押す

お湯入替設定

手動入替
自動入替設定
使用量計算設定

◆で選択し、**決定**を押す

現在使用量計算はOFFに
なっています。
ONにしますか?

はい → **決定** いいえ → **もどる**

自動入替を解除する

- ① **設定** を押す。
- ② **▲** **▼** を押して、『お湯入替設定』を選び、
決定 を押す。
- ③ **▲** **▼** を押して、『自動入替設定』を選び、
決定 を押す。
- ④ **▲** **▼** を押して、『設定しない』を選び、
決定 を押す。
- ⑤ 確認画面が表示される。
- ⑥ **決定** を押す。

設定メニュー (2/2)

夏場OFF設定
お湯入替設定
時刻設定

◆で選択し、**決定**を押す

お湯入替設定

手動入替
自動入替設定
使用量計算設定

◆で選択し、**決定**を押す

自動入替設定

おまかせ時間設定
入替時間指定
設定しない

◆で選択し、**決定**を押す

現在設定されている項目が
黒色に表示されます。

手動入替

強制的にタンクのお湯を入れ替える機能です。

※手動入替は、お湯または水を使用しない時間帯に行ってください。

- ① **設定** を押す。
- ② **▲** **▼** を押して、『お湯入替設定』を選び、
決定 を押す。
- ③ **▲** **▼** を押して、『手動入替』を選び、
決定 を押す。

設定メニュー (2/2)

夏場OFF設定
お湯入替設定
時刻設定

◆で選択し、**決定**を押す

お湯入替設定

手動入替
自動入替設定
使用量計算設定

◆で選択し、**決定**を押す

手動入替を開始し、表示部に『手動入替中』と表示されます。

※ **もどる** を押すと手動入替を中止します。

スーパー節電機能、節電機能

【スーパー節電機能】

- ①使用頻度が低い時間帯を学習して、わかあがり温度を60℃まで下げて節電します。
- ②お湯を使わない休日や夜間を学習して、自動的にヒーターOFFして節電します。
- ③お湯が必要ない季節(夏場など)は、水温を自動検知し、自動的にヒーターOFFして節電します。
※わかあがり温度80℃以上の設定では、スーパー節電機能は設定できません。

【節電機能】

- 使用頻度が低い時間帯を学習し、わかあがり温度を下げて節電します。
(90℃,85℃設定時は80℃に、75℃,70℃,65℃設定時は60℃に、わかあがり温度を下げます。)
※わかあがり温度80℃,60℃設定では、節電機能は設定できません。
- ・工場出荷時は節電機能、スーパー節電機能は設定されていません。
 - ・節電機能、スーパー節電機能はウィークリータイマー機能と併用することができます。
※節電機能とスーパー節電機能は併用できません。

- ① **設定** を押す。
- ② **▲ ▼** を押して、『節電設定』を選び、
決定 を押す。
- ③ **▲ ▼** を押して、設定したい機能を選び、
決定 を押す。

※節電設定を解除する場合は、『節電OFF』を選択します。

学習には3週間かかります。学習中は設定温度で運転を行います。
・使用頻度が低い時間帯は、わかあがり温度が設定より低くなります。
・学習完了後に使用状況が大幅に変化した場合(お店の営業時間・定休日の変更された等)スーパー節電にしていることにより、湯切れする可能性があります。この場合は、学習内容をリセットしてください。(18 ページ「学習内容のリセット」参照)

設定メニュー(1/2)

温度設定
節電設定
ウィークリータイマー設定

◆で選択し、**決定**を押す

節電設定

節電OFF
節電
スーパー節電
学習リセット

◆で選択し、**決定**を押す

現在設定されている項目が黒色に表示されます。

学習内容のリセット

節電機能及びスーパー節電機能の学習内容(お湯の使用頻度と水温)をリセットします。

※リセット後、再度学習する3週間は設定温度で運転を行います。3週間後から、節電・スーパー節電それぞれの運転に入ります。

- ①上記①、②と同じ手順で『節電設定』を選択する。
- ② **▲ ▼** を押して、『学習リセット』を押し
決定 を押す。
- ③確認画面が出たら、**決定** を押す。

節電設定

節電OFF
節電
スーパー節電
学習リセット

◆で選択し、**決定**を押す

節電設定

学習リセットすると、
3週間は設定温度で運転
します。よろしいですか?

はい → **決定** いいえ → **もどる**

夏場OFF 機能の設定

- ・お湯を使わない夏場に自動的にヒーターOFFして節電します。(最大で5月～10月の6ヶ月)
 - ・夏場OFFの設定期間が終わると、夏場OFFする前の状態で運転を再開します。
 - ・工場出荷時は夏場OFF機能は設定されていません。
 - ・夏場OFF機能は節電機能、スーパー節電機能、ウィークリータイマー機能と併用することができます。
- ※節電機能とスーパー節電機能は併用できません。

- ① **設定** を押す。
- ② **▲ ▼** を押して、『夏場OFF』を選び、
決定 を押す。
- ③ **▲ ▼** を押して、『設定する』を選び、
決定 を押す。
- ④ **▲ ▼** を押して、夏場OFFの開始月を選び、
決定 を押す。

※ 設定された月の1日から夏場OFFを開始します。

- ⑤ **▲ ▼** を押して、夏場OFFの終了月を選び、
決定 を押す。

※ 設定された月の末日に夏場OFFを終了します。
右図の場合、5/1～10/31まで運転OFFになります。

以下、お湯入替機能の『おまかせ時間設定』もしくは『入替時間指定』を設定している場合

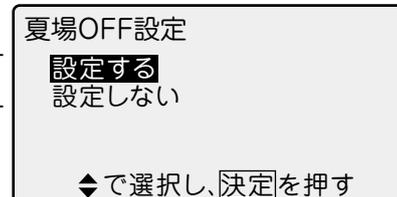
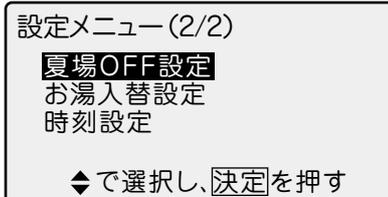
- ⑥ 夏場OFF期間中もお湯自動入替を行うかを選ぶ。
※お湯は使用しないが、水は使用する場合でお湯自動入替をしたい場合に設定してください。(シングルレバー水栓を使用する場合、水側を全開にしないと、タンク内の水が混じってしまいます。)
※湯の入替は通常時のお湯自動入替と同じ時間に行います。

自動入替を行う場合 : **決定** を押す。

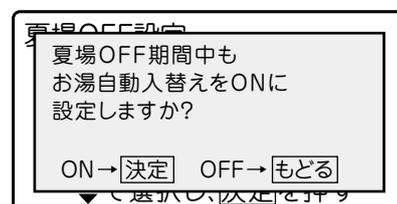
自動入替を行わない場合 : **もどる** を押す。

※ 夏場OFF機能を解除するには上記③で「設定しない」を選び、

決定 を押す。



現在設定されている項目が黒色に表示されます。



現在年月日・時刻の設定

- ① **設定** を押す。
- ② **▲** **▼** を押して、『時刻設定』を選び、
決定 を押す。
- ③ **▲** **▼** を押して、『年』を設定し、
決定 を押す。
- ④ ③と同様に『月』、『日』、『時』、『分』の設定を行う。

※分を設定し **決定** を押したときが0 秒です。

※工場出荷時は時刻設定されています。

設定メニュー (2/2)

夏場OFF設定
お湯入替設定
時刻設定

◆で選択し、**決定**を押す

時刻設定

2018年 1月 1日
12:00

◆で選択し、**決定**を押す

チャイルドロックの設定



以外のスイッチ操作をロックする機能です。

▲ と **▼** を2 秒以上同時押しする。

※設定されると表示部に『**no**』マークが表示されます。

※解除する場合、**▲** と **▼** を2 秒以上同時押しする。



『**no**』マークが
表示されます。



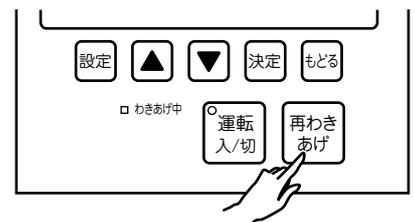
再わきあげ機能

再わきあげ を押す。

※ 再わきあげ中に再度 **再わきあげ** を押すと、再わきあげを中止します。

※ 再わきあげ後も、ウィークリータイマー等の設定は継続されます。

※ 節電モードで再わきあげをした場合、設定されている温度までわきあげが可能です。



⚠ 注意

必ず運転スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
※感電の恐れがあります。



つぎのものは使用しないでください。
・酸性、アルカリ性および塩素系の洗剤類
・ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコール等の溶剤や油類
・クレンザー等の粒子の粗い洗剤
※機器の変色や破損の原因になります。



機器回りの漏水点検(日常)

機器、各配管とその接続部分は、長期間の使用により漏水する場合があります。接続部分や機器の下面から漏水していないか日常的に点検してください。
漏水を発見した場合は、すぐに止水栓を閉め、お買い求めの販売店またはLIXIL修理受付センターへご連絡ください。

機器周りの環境(日常)

機器上部にぬれたものや洗剤等が置かれていないか確認してください。
置かれている場合は、ただちに取り除いてください。

機器のお掃除(日常)

通常は乾いた布でふいてください。汚れがひどいときは、適量にうすめた中性洗剤をしみこませた布でふきとってください。
また洗剤は確実にふきとってください。
※給湯配管まわりをお手入れする場合は、配管を冷やしてから行ってください。ヤケドの原因になります。
※ナイロンたわし、ステンレスたわし、ブラシ等は使用しないでください。キズの原因になります。

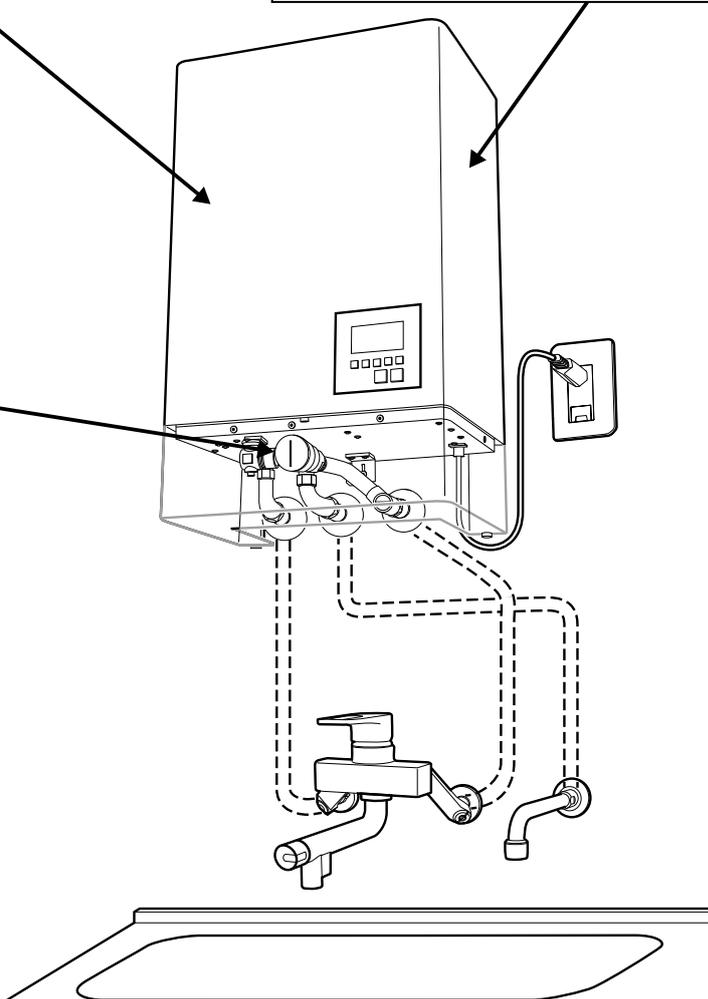
タンク内のお掃除(年1回程度)

長期間の使用でタンク内に汚れがたまる場合があります。
機器内の水抜きと給水をくり返して清掃してください。 **8、23 ページ参照**

フィルターのお掃除 (湯量が少なくなったら)

機器の設置初期や長期間使用している間に配管内を流れてきたゴミがフィルターに詰まって湯や水の出が悪くなる場合があります。
湯や水の出が悪くなったらフィルターの掃除を行ってください。

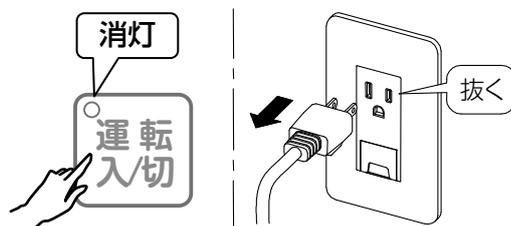
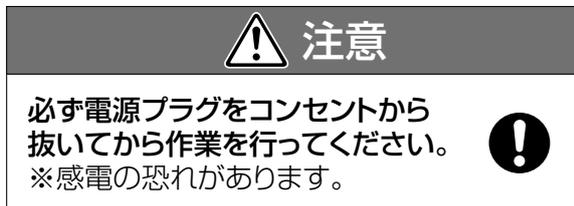
22 ページ参照



フィルター継手の掃除方法(湯量が少なくなったら)

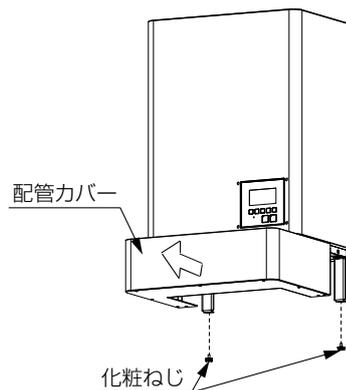
機器の設置初期や、長期間使用している間に、配管内を流れてきたゴミがフィルターに詰まって湯や水の出が悪くなることがあります。湯や水の出が悪くなったら、フィルターの掃除を行ってください。

① 運転スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜く。

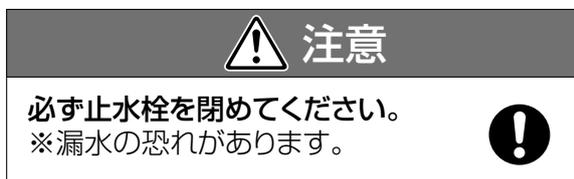


② 配管カバー取り外す。

- (1) 本体底面2カ所の化粧ねじを取り外す。
- (2) 配管カバーをスライドさせ取り外す。

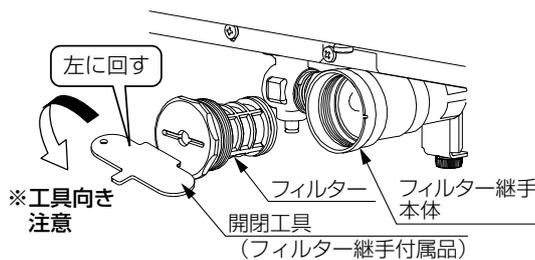


③ 止水栓を閉める。

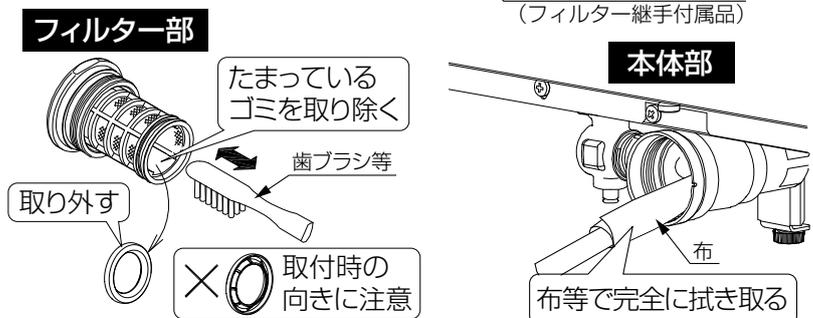


④ 開閉工具(フィルター継手付属品)を用いて、フィルターを取り外す。

フィルターを取り外すと、フィルター継手本体から水がこぼれます。フィルター継手本体下部に洗面器等を置き、水を受けてください。



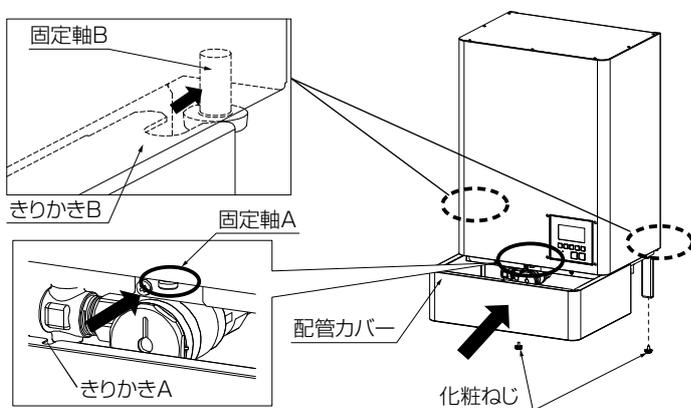
⑤ フィルターおよびフィルター継手本体内部のゴミをブラシ等で取り除く。



⑥ 取り外しと逆の手順でフィルターを取り付ける。

⑦ 配管カバーを取り付ける。

- (1) 配管カバーをスライドさせ、本体中央部の固定軸AにきりかきAを差し込む。
- (2) 本体左右の固定軸BにきりかきBが差し込まれているか確認する。
- (3) 本体底面に化粧ねじを2個取り付ける。



掃除完了後、フィルターは確実に取り付け、7ページからの「ご使用前の注意事項」にしたがって通水し、水漏れのないことを確認してください。

※不明な点がございましたら、LIXIL修理受付センターにご相談ください。有料にて掃除いたします。

冬季凍結の恐れがある場合

積雪の多い地方だけでなく、暖かい地域でも思いもよらぬ冷え込みで凍結事故が発生する場合があります。凍結する恐れがある場合は水抜きをしてください。

⚠ 注意

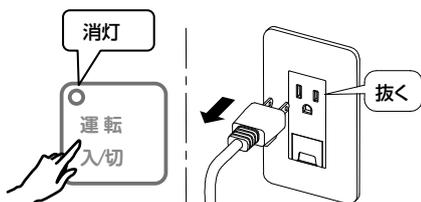
室温が0℃以下になると考えられるときは、機器の水抜きを行ってください。
水抜きを行う前に、空だき防止のため、運転スイッチを「切」にして、電源プラグを抜いてください。
※機器の漏水や破損の原因になります。



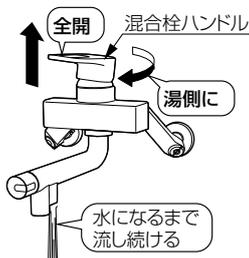
機器内の水抜き方法

■ 機器内の水抜き

① 運転スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜く。



② 混合栓ハンドルの湯側を全開にし、吐水が水になるまで流し続ける。



⚠ 注意

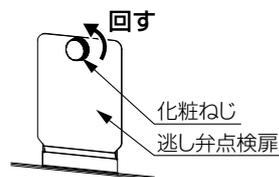
機器内のお湯を出し切ってください。
※機器内にお湯が残っていると水抜き時ヤケドの恐れがあります。



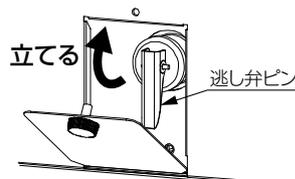
③ 水栓金具を開けたまま止水栓を閉める。

④ 水栓金具を閉める。

⑤ 本体の左側面にある逃し弁点検扉を開ける。
化粧ねじを左に回して外します。

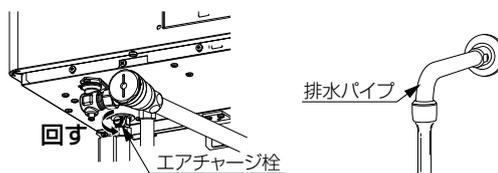


⑥ 逃し弁ピンを立てる。

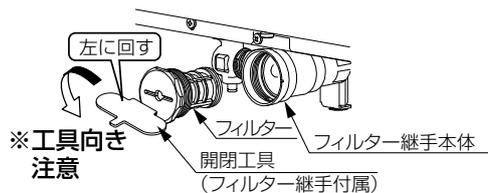


⑦ 配管カバーを取り外す。(22ページ参照)

⑧ エアチャージ栓を開け、排水する。
排水パイプから排水されます。

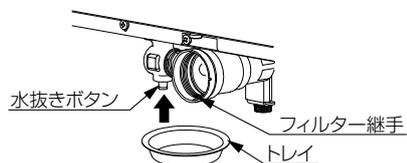


⑨ タンク内の水抜き完了後、フィルターを外す。



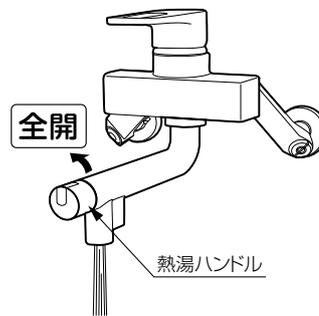
⑩ 水抜きボタンを押す。

配管内の水を抜きます。
フィルター継手から少量の水が出ますので、トレイで受けてください。



⑪熱湯ハンドルを開ける。

水側および配管内の水を抜きます。

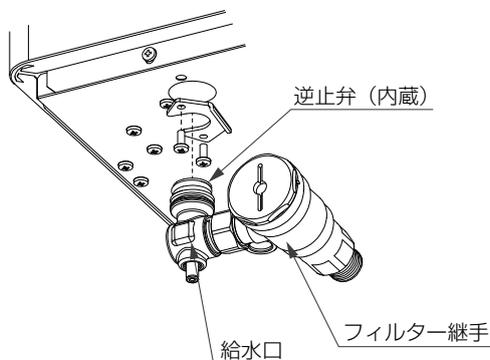


⑫エアチャージ栓を閉める。

⑬逃し弁ピンを元にもどし、逃し弁点検扉を閉める。

⑭配管カバーを取り付ける。(22ページ参照)

定期的な部品点検のお願い



●部品点検について

給水用具(逆流防止装置)を内蔵している機器は安全・快適にお使いいただくために、社団法人日本水道協会発行の「給水用具の維持管理指針」に基づき、4～6年に1回程度の点検を受けることをおすすめします。

●摩耗・劣化する部品交換について

部品が摩耗・劣化すると水漏れ等の原因になりますので交換が必要です。
・交換時期の目安：4～6年
・磨耗・劣化する部品の例：減圧弁、逃し弁、パッキン、Oリング、電装品、電磁弁など

点検は販売店またはLIXIL 修理受付センターにご相談ください。

長期間使用しない場合

23ページ「水抜き方法」にしたがい機器内の水を抜いてください。

停電時の対応

停電時または電源プラグが抜かれている場合は、内蔵電池により時計機能・学習内容の記憶を行います。停電復帰後、以下の確認をしてください。

■表示部の日付・時刻が正しい場合

そのままご使用ください。

■表示部の日付・時刻が正しくない場合

- ①電源プラグを差してください。
- ②日付・時刻を再設定してください。(20ページ参照)

故障かなとおもったら

故障かなと思ったら、まずは下記項目をご覧になり、処置方法を試してみてください。
確認しても故障が直らない場合は、販売店またはLIXIL 修理受付センターへご相談ください。



注意

修理技術者以外の方は、絶対に分解、改造は行わないでください。
※火災や感電の原因になります。



お湯が出ない、お湯にならない、お湯がぬるい

| 原因 | 処置方法 |
|--------------------------|---|
| 止水栓を開いていますか？ | 止水栓を開けてください。 |
| 元電源は入っていますか？ | 分電盤のブレーカーを「入」にしてください。 |
| 分電盤のブレーカーが作動していませんか？ | 機器の使用を中止し、販売店またはLIXIL 修理受付センターへご相談ください。 |
| 電源プラグは確実に差し込まれていますか？ | 電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。 |
| 空だきして安全装置が働いていませんか？ | 安全装置をリセットしてください。27 ページ |
| 運転スイッチが「切」になっていませんか？ | 運転スイッチを「入」にしてください。9 ページ |
| 表示部に『節電』の表示がありませんか？ | 節電機能が作動し、湯の使用頻度が低い時はわかあがり温度を下げて節電運転をしています。 |
| 表示部に『スーパー節電』の表示がありませんか？ | スーパー節電機能が作動し、湯の使用頻度が低い時は、わかあがり温度を下げて節電運転をしています。また、給水温度が高い時、湯を使用しない時間帯は自動的に運転をOFF しています。 |
| 表示部に『タイマーOFF』の表示がありませんか？ | ウィークリータイマー機能により、自動的に運転をOFF しています。 |
| 表示部に『夏場OFF』の表示がありませんか？ | 夏場OFF 機能により、自動的に運転をOFF しています。 |
| 設定温度が低くないですか？ | 設定温度を高くしてください。 |

流量が少ない

| 原因 | 処置方法 |
|--------------------|-----------------------|
| 止水栓が十分に開かれていますか？ | 止水栓を開けてください。 |
| 断水していませんか？ | 断水の確認をしてください。 |
| フィルター継手が詰まっていますか？ | フィルターを掃除してください。22 ページ |
| 水栓金具の吐水口が詰まっていますか？ | 水栓金具の吐水口を掃除してください。 |

漏水している

| 原因 | 処置方法 |
|--------------------|---|
| 電気温水器本体から漏水していますか？ | 販売店またはLIXIL 修理受付センターへご相談ください。 |
| 配管接続部から漏水していますか？ | 締め直すことができる部分は締め直してください。それ以外は止水栓を閉め、修理依頼をしてください。 |

お湯が汚れている

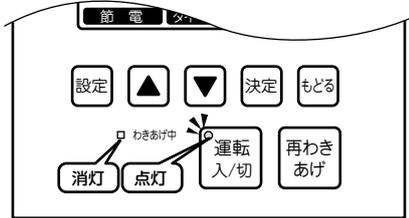
| 原因 | 処置方法 |
|----------------|----------------------|
| タンク内が汚れていませんか？ | タンク内を掃除してください。21 ページ |

次の場合は故障ではありません

こんなときは

理由

運転スイッチを「入」にしているが、
わきあげLED が点灯していない。



タンク内の水がわきあがると、ヒーターの通電を停止するため、わきあげLED が消灯します。
タンク内の湯温が下がると、ヒーターの通電を開始するためわきあげLED が点灯します。

表示部に『タイマーOFF』、や『夏場OFF』の表示がある場合は節電機能が働いているため、わきあげを行いません。



わきあげ中に排水パイプからポタポタと水が出る。



タンク内の水は温められると、膨張して体積が増えます。その膨張した水を排水パイプから排出しており、異常ではありません。

お湯の量が少ない。

本機器は、タンク破損防止のために減圧弁を内蔵し、水圧を下げています。

お湯の温度が低くなる。

タンク内のお湯がなくなったためと考えられます。お湯がなくなると、再度水のわかしあげに時間がかかります。

6 ページ参照

出てくるお湯ににおいがする。

水道水中に含まれるにおい成分(カルキ臭)などが加熱され、においが感じられることがあります。使い始めはプラスチックのにおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。

混合水栓の水側を開いたときにあたたかい水が出る。

タンク内の水をわかしあげる際に、給水配管の水に若干熱が伝わるからです。

本体が熱くなっている。

通常機器外装部の表面温度は、約50℃程度まで上昇します。

機器から異音がする。

お湯のわきあがり近くなると、機器内部からお湯がわいている音がする場合がありますが、異常ではありません。

「節電」、「スーパー節電」の設定ができない。

わきあがり温度が80℃,60℃設定時は、節電機能は設定できません。また、わきあがり温度が80℃以上設定時は、スーパー節電機能は設定できません。

こんなときは

理由

排水パイプから水が数秒間排出する。

わかあげ中のエアー抜き機能が働いているためです。

排水パイプから数十分間
勢いよく水が出る。

お湯自動入替機能による、お湯の入替が行われているため
です。

運転スイッチ「入」にしているのに
液晶の表示が消えている。

1 時間スイッチの操作がない場合、液晶の表示が消えます。
任意のスイッチを押すと表示されます。

上記処置で不明な点がございましたら、販売店または当社お客さま相談センターへご相談ください。
修理のご依頼が必要な場合はLIXIL 修理受付センターにご連絡ください。

TEL ☎ 0120-179-411 FAX ☎ 0120-179-456

■エラー表示と処置方法

エラーが発生すると運転を中止し、表示部にエラー内容が表示されます。

下記の手順に従って処置してください。

| エラー名、表示 | 処置方法 |
|------------|--|
| 空だき | <ul style="list-style-type: none"> ●空だきした可能性があります。 <ol style="list-style-type: none"> ①運転スイッチを「切」にし、電源プラグを抜きます。 ②タンクへ給水されているかを確認します。 給水されていない場合はタンクへの給水を行います。8 ページ ③電源プラグを差し、運転スイッチを「入」にします。 |
| 流量異常 | <ul style="list-style-type: none"> ●以下の状態で運転を継続した可能性があります。 <ul style="list-style-type: none"> (A)断水等で一時的に止水状態になった。 (B)止水栓が閉まっていた。 (C)フィルター継手にゴミが詰まっていた。 【処置方法】 <ol style="list-style-type: none"> ①運転スイッチを「切」にし、電源プラグを抜きます。 ②止水状態でないか(一時的な断水、止水栓が閉まっている)確認し、止水状態の場合は復帰させます。 ③止水状態ではない場合は、止水栓を閉め、フィルター継手を掃除します。 ④電源プラグを差し、運転スイッチを「入」にします。 ⑤手動入替を設定し、エラー表示が出ないことを確認します。17ページ 再度表示した場合は、販売店またはLIXIL 修理受付センターへご相談ください。 |
| 安全装置作動 | <ul style="list-style-type: none"> ●安全装置が作動している可能性があります。 <ol style="list-style-type: none"> ①運転スイッチを「切」にし、電源プラグを抜きます。 ②電源プラグを差し、運転スイッチを「入」にします。 再度表示した場合は、販売店またはLIXIL 修理受付センターへご相談ください。 |
| 漏水検知 | <ul style="list-style-type: none"> ●漏水した恐れがあります。 <ol style="list-style-type: none"> ①電源プラグをコンセントから抜き、止水栓を閉じます。23 ページ ②販売店またはLIXIL 修理受付センターへご相談ください。 |
| ヒーター断線異常 | 販売店またはLIXIL 修理受付センターへご相談ください。 |
| 表示用サーミスタ異常 | |
| 給水サーミスタ異常 | |
| 缶体サーミスタ異常 | |

アフターサービスについて

1. 修理を依頼される前に

使用していて、故障ではないかと思われたら、25、26、27ページの「故障かなとおもったら」、「次のような場合は故障ではありません」を参照してください。

2. 保証書をご覧ください

- ・本製品の保証期間はお取付日から2年間です。
- ・この取扱説明書の最後のページが保証書になっています。お取付日、取扱店名などの記入をお確かめのうえ大切に保管してください。
- ・保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

3. 修理を依頼されるとき

<保証期間中の修理>

- ・修理に際しては、保証書をご提示ください。
- ・保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

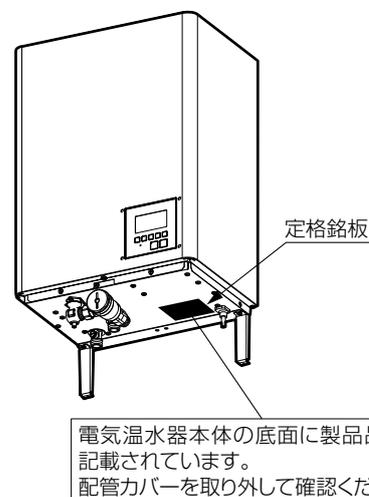
<保証期間経過後の修理>

- ・修理すれば使用できる商品については、有料にて修理させていただきます。
- ・修理料金は「技術料」+「出張料」+「部品代」で構成されています。

<連絡していただきたい内容>

- 1 ご住所・ご氏名・電話番号
- 2 商品名・品番・取付年月日
(機器本体の定格銘板をご覧ください)
- 3 故障内容・異常の状況をできるだけ詳しく
- 4 訪問ご希望日・お宅までの道順

※お客さまからご連絡いただく氏名や住所等の個人情報は、商品の点検修理にのみに利用し管理いたします。なお、これらの業務に携わる協力会社へもお客さまの個人情報を開示することがありますが、弊社と同等の管理を行わせています。



4. 部品の保有期間について

この機器の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後6年です。この部品保有期間を修理対応可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後でも、故障個所によっては修理可能な場合がありますので、ご相談ください。※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5. 修理のご依頼は

お求めの販売店やお近くの水道工事店、または

LIXIL 修理受付センターまで

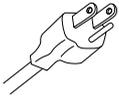
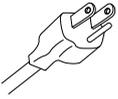
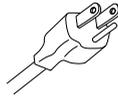
TEL ☎ 0120-179-411

受付時間9:00～19:00(365日受付)

FAX ☎ 0120-179-456

ホームページアドレス<http://www.lixil.co.jp/support/>

仕様

| 品番 | EHPN-KWA12ECV1 | EHPN-KWB12ECV1 | EHPN-KWA20ECV1 | EHPN-KWB20ECV1 | EHPN-KWA30ECV1 | EHPN-KWB30ECV1 | |
|----------------|---|---|---|--|---|---|-----------------|
| 本体寸法(突出部寸法含む) | 幅360mm×奥行260mm×高さ590mm | | 幅360mm×奥行260mm×高さ797mm | | 幅360mm×奥行260mm×高さ1043mm | | |
| 本体質量(満水時) | 約12kg(約24kg) | | 約14kg(約34kg) | | 約18kg(約48kg) | | |
| 給水方式 | 先止め式 | | | | | | |
| 使用水圧範囲 | 0.1MPa(流動圧)~0.75MPa(静水圧) | | | | | | |
| 減圧弁設定圧力 | 0.08MPa | | | | | | |
| 逃し弁設定圧力 | 吹き始め:0.097MPa 吹き止り:0.090MPa | | | | | | |
| 電源コード・プラグ形状 | 有効長さ1.5m | 有効長さ1.5m | 有効長さ1.5m | 有効長さ1.5m | 有効長さ1.5m | 有効長さ1.5m | |
| |  |  |  |  |  |  | |
| 電気定格 | 定格電圧 | AC100V(50/60Hz) | 単相200V(50/60Hz) | AC100V(50/60Hz) | 単相200V(50/60Hz) | AC100V(50/60Hz) | 単相200V(50/60Hz) |
| | 消費電力 | 1100W | 1500W | 1100W | 1500W | 1100W | 2000W |
| タンク | 容量 | 約12L | | 約20L | | 約30L | |
| | 材質 | 特殊ステンレス鋼板 | | | | | |
| わかあげ温度 | 約60~90℃(5℃刻み) | | | | | | |
| 出湯温度 | 約60~90℃(5℃刻み) | | | | | | |
| わかあげ時間(15→90℃) | 約58分 | 約42分 | 約102分 | 約73分 | 約154分 | 約80分 | |
| 発熱体 | 構造 | シーズヒーター | | | | | |
| | 容量 | 1100W | 1500W | 1100W | 1500W | 1100W | 2000W |
| 自動温度調節器 | サーミスタ方式 | | | | | | |
| 温度過昇防止器 | サーミスタ方式 バイメタル方式(手動復帰式) | | | | | | |
| 標準出湯量 | 洗い物※1 | 約26L | | 約52L | | 約81L | |
| | 給茶用※2 | 約83杯 | | 約163杯 | | 約257杯 | |
| 使用可能雰囲気温度 | 0~40℃(ただし、凍結しないこと) | | | | | | |

※1: 水温15℃、出湯温度38℃、出湯量4L/分の条件下で一度に使用できるお湯の量です。

※2: コップ1杯100ccとして算出

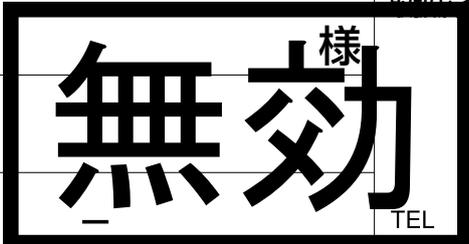
特定電気用品の適合性検査証明

本製品は、電気用品安全法第9条の規定に基づき、特定電気用品の適合性検査証明を受けています。

保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求めの取扱店に修理をご依頼ください。

※ 品番・取付日・お客さま・取扱店の欄に記載のない場合は、無効になります。

| | | | | | |
|------------------|-------------|--|--|--------------|--|
| 品名： | | (品番： | |) | |
| 保証期間 | | 取付日 | | 年 月 日 | |
| 取付日より 2 年 | | | | | |
| お客さま | おなまえ |  | | 取扱店名 | |
| | おところ | | | | |
| | おでんわ () | | | TEL () - | |

お客さまへ

- 保証書は再発行しませんので、紛失されないよう大切に保管してください。
- お客さまにご記入いただくこの保証書の個人情報につきましては、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。

無料修理規定 (保証規定)

- 「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
- 無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
- ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合は、取扱説明書に記載のお客さま相談センターまたはLIXIL修理受付センターにご相談ください。
- 保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。(免責事項)
 - 用途以外(車両、船舶及び使用頻度が極度に高い業務用等)に使用した場合の故障及び損傷等の不具合
 - 指定業者や施工説明書等に基づかない施工及び工事に起因する不具合
 - お客さまが適切な使用・維持管理を行わなかった事による故障及び損傷等の不具合
 - 専門業者以外による移動・修理・分解などに起因する不具合
 - 建築躯体の変形(強度不足・ゆがみ)等製品以外の不具合に起因する当該製品の不具合
 - 経年変化使用に伴う外観上の現像(塗装の色あせ、もらい錆等)または使用に伴う消耗部品の摩耗等により生じる不具合
 - 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境及び公害環境(煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガスなど各種ガス)に起因する不具合
 - 小動物(犬、猫、ねずみ、昆虫等)の行為または蔓(つる)や根などの植物の害に起因する不具合
 - 天災地変(火災、爆発等事故、落雷、地震、噴火、風水害、津波、地盤沈下、凍結、雪害等)に起因する不具合による故障及び損傷
 - 戦争・暴動等破壊行為または犯罪等の不法行為に起因する破損や不具合
 - 自然現象や住環境に起因する結露・染み出し・かび等の現象
 - 消耗品(パッキン)類、配管中の異物のつまり等による故障及び損傷
 - 水道水以外を給水したことによって生じた故障及び損傷(※水道水とは、水道事業者が供給する上水をいう)
 - 凍結による故障及び損傷
 - 給水・給湯配管の錆、砂やごみなどの異物の配管内流入及び水あか固着に起因する不具合
 - ガス・電気・給水等の供給で指定された以外の環境(異常ガス圧、異常電源・電圧・周波数、異常電磁波、異常水圧・水質、音、振動等)に起因する故障及び損傷などの不具合
 - 指定規格以外のガス・電気・燃料等を使用したことに起因する不具合
 - 保証書の期限切れまたは提示がない場合
 - 本書にお取付日・お客さまのお名前・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によってお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明の場合、お買い求めの取扱店または取扱説明書に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。
- 修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後6年です。

商品についてのお問い合わせはお客さま相談センターまで

TEL ☎ 0120-179-400

FAX ☎ 0120-197-430

受付時間 平日 9:00~18:00

土日・祝日 9:00~17:00

(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)

修理のご依頼はLIXIL修理受付センターまで

TEL ☎ 0120-179-411

FAX ☎ 0120-197-456

受付時間 9:00~19:00 (365日受付)

株式会社 LIXIL

ホームページアドレス <http://www.lixil.co.jp/>

株式会社 LIXIL

使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問い合わせは

お客さま相談センターまで

TEL ☎ 0120-179-400

FAX ☎ 0120-179-430

受付時間 平日 9:00～18:00

土日・祝日 9:00～17:00 (ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)

※フリーダイヤルは携帯電話・PHS・IP電話などではご利用できない場合がございます。

下記番号をご利用ください。

TEL 0562-40-4050

FAX 0562-40-4053

インターネット・ホームページアドレス

<http://www.lixil.co.jp/>

修理のご依頼は (本文の「アフターサービス」をお読みください)

お求めの販売店または

LIXIL 修理受付センターまで

TEL ☎ 0120-179-411

受付時間 9:00～19:00(365日受付)

FAX ☎ 0120-179-456

ホームページアドレス <http://www.lixil.co.jp/support/>

●当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンスなど、当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

